

(別添資料1)

事業所名

エントランス池袋教室

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

1 月

15 日

法人（事業所）理念		私たちは、社会人として世の中に貢献し、 ちが縁する全ての人たちのしあわせの実現を、めざします。				私たち自身と、私た	
支援方針		子供たちひとりひとりが、日常の様々な場面において、自身で判断、決定するスキルや力をつけながら、自分の未来に対して明るいイメージが持てるためのサポートを行います。 ・一人ひとりの学力や個性、環境に応じた個別の「学習支援」。・基礎的な生活動作や、将来の自立に向けて必要な習慣の「習得支援」。 ・遊びや様々な活動を通して、ご家族以外との「人間関係構築支援」。・ご家族が安心できる、こころ休まる時間を提供。					
営業時間		12 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・生活の基本的スキルのうち、食べること、着替え、排泄をできるだけ自主的な行動 ・自身の持ち物の管理 ・片付けのスキル（自分の出したもの、使ったものは、自分で片づける/次の行動に移行する際には、前に使っていたものを片づけてから）を身につける ・トイレ使用時のルールやマナーの獲得 ・身だしなみを整える					
	運動・感覚	・ビジョントレーニング等による、視覚、聴覚の強化 ・外遊び（ストライダー/竹馬/ホッピング/縄跳び/リップスティック/シャボン玉/チョークでお絵かき等）での粗大運動他による固有覚、前庭覚の強化、および、運動不足、ストレスの解消 ・微細運動（ハサミを使つての工作/フェルト、針と糸でマスコット作り/編み物等） ・粘土遊びによる物質の変化と感覚の認知の獲得					
	認知・行動	・自己理解を深めながら、他者理解につなげる ・時刻の読み取り、時間の概念の習得 ・天気、気温、日付の把握と確認による季節の変化への興味を持つ ・数の概念の獲得 ・小集団の遊びのなかで、認知の偏りを修正しながら、穏やかにトラブルなく遊べるよう、適切な行動、他児への配慮を覚える ・出来事を時系列で考える ・TP0を踏まえての行動					
	言語 コミュニケーション	・小集団での関わりの中で、自分の気持ちを言語化して表出する ・言葉の選び方や口調を工夫しながら、他者とのトラブルを回避し、穏やかに楽しく遊ぶスキルを学ぶ ・一問一答で、聞く力を鍛え、また、5W1Hで文章を組み立てるスキルの向上も目指す					
	人間関係 社会性	・ごっこ遊び、ボードゲームやカードゲームを通じてルールの理解、集団活動を経験 ・地域のお祭りなどイベントを通じて地域と交流 ・大人と1対1の遊びから、他児童との遊びの楽しさを知る ・異学年との遊びや交流の中で、年上、年下に対する関わり方を知る ・相手にも気持ちや都合があることを知り、受容したり、妥協点を見つけたりできるようになる					
家族支援		・事業所で行っている支援方法をご家庭でも実践できるように声掛けの方法や、 かかわり方などを送迎時、面談時に具体的にお伝えする。 ・普段の様子、変化のあった個所などを通所の都度、保護者様に共有する。				移行支援	
地域支援・地域連携		・町内会と連携し、地域のイベント(お祭り等)に参加し、交流を図る。 ・関係機関と定期的に連携会議を開催し、情報共有と役割分担について協議する。				職員の質の向上	
主な行事等		例) ・土曜日、祝日、長期休暇中にイベント実施。 [未就学～小学校] 集団生活スキルを活かせる遊戯施設、公園でのイベント/クッキング、製作イベント 等 [中・高生] レストランでの食事マナー講習、農業体験 等					